

7. 木質バイオマス利活用の実態 (10)

ペレットストーブの欧州市場

岩手県はペレット燃料の生産、利用についてかつては先進県であった。2002年当時、県内で利用されていたペレットストーブは27台で、その後急速な伸びを示し5年の2007年には1,100台を超え、2019年に2000台に達し、順調な伸びを示している。全国の動向については詳細な資料を見つけないが、2019年の日本ペレットストーブ工業会の調べでは、わが国のペレットストーブ販売台数は年間約3000台と推計されている。

一方、バイオマス熱利用の先進地域、欧州の概要は図表7.11および7.12のとおりである。

図表 7.11 欧州でのペレットストーブ市場

		年間販売台数		累積設置台数	
		2017	2018	2017	2018
Austria	AT	2.400	2.000	49.500	51.500
Switzerland	CH	200	200	10.900	11.100
Czech Republic	CZ	700	700	4.200	4.900
Germany	DE	16.500	18.000	160.300	176.500
Greece	EL	1.000	500	17.000	17.500
Spain	ES	42.732	50.130	217.797	267.927
Finland	FI	300	300	2.100	2.400
France	FR	143.900	163.000	740.000	903.000
Italy	IT	133.259	130.732	2.287.630	2.380.192
Latvia	LV	200	350	1.700	2.050
Poland	PL	n.a.	300	n.a.	n.a.
Republic of Serbia	RS	5.200	4.420	51.920	56.340
Sweden	SE	900	900	32.000	32.900
United Kingdom	UK	n.a.	n.a.	72	72

出典：BIOENERGY EUROPE'S STATISTICAL REPORT 2019より編集

年間販売数は、フランスが約16万台で、2017年以降イタリアを抜いてトップに立っている。灯油支援の打ち切りなどでペレット競争力が向上し、設置数は約90万台、全世帯に対する設置世帯率は約3%と着実に増加している。

イタリアは2014年の23万台から13万台にまで減速したが、設置数は230万台とフランスの2.6倍、設置世帯率は9.2%とヨーロッパで最も多い国である。

スペイン：第3位、ブルガリア：4位（ただし図表7.11には抜けている）、ドイツが5位と続いている。

わが国のペレットストーブ年間販売台数はオーストリア並み。ただし世帯率は14倍。住宅構造、生活スタイル、環境意識、コストパフォーマンス、政策的支援など、普及を阻む多くの要因が横たわっているように感じる。

図表 7.12 欧州のペレットストーブ普及状況

	設置世帯率
IT	9,18%
BG	4,28%
FR	3,03%
ES	1,44%
AT	1,32%
SE	0,63%
DE	0,43%
EL	0,40%
HR	0,24%
LV	0,24%
CZ	0,10%
FI	0,09%
SK	0,01%